

大会開催にあたって

今年度の研究大会は、立命館大学衣笠キャンパスに会場をお借りして開催します。一般研究発表は3会場に分けて行われます。両日共に9時から開始されますが、早い時間帯にも多くの方々にご参加くださいますよう、お願いいたします。

初日のシンポジウムは、「ケアの現象学」と題し、現象学的看護研究の第一人者である西村ユミ氏、障害学の当事者研究で注目を集める小児科医の熊谷晋一郎氏、自閉症研究で著名な村上靖彦氏にご提題頂きます。実践の現場に根差す思考が、いかにして現象学的知の変容を迫るのか、ご参加の皆様と議論を深めることができると存じます。

二日目には「メルロ＝ポンティと知覚の問題」というテーマで国際シンポジウムを開催します。北政現象学会から参加されるラスムス・イェンスン氏（コペンハーゲン大学）、フランスで教授資格取得後、京都大学にてご研究中のヴァンサン・ジロー氏に、メルロ＝ポンティの思考を斬新な視角から考究して頂きます。

また、初日には「フェミニスト現象学における身体論の展望」、二日目には「レヴィナス『全体性と無限』とエロスの現象学」と題する公募制ワークショップが開催されます。どちらも大変意欲的な内容です。今年度は、会員諸氏のご意見にお応えし、二つのワークショップを別々の時間に開催しますので、ぜひ両方ともご参加下さい。

多くの会員諸氏のご参加をお待ちしています。関心をお持ちの方々にも、ぜひ情報提供をお願い致します。

企画実行委員長

プログラム

11月5日（土）

9:00-12:15 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

第1会場（敬学館地階225）

9:00 鈴木 崇志（京都大学）
フッサールの形式的倫理学における価値判断の位置づけ

9:50 早坂 真一（神戸大学）
理念的全体性としての超越論的主観性

10:40 梶尾 悠史（東北大学）
現象学的内在主義——意味志向と意識の現実

11:30 松田 毅（神戸大学）
フッサールのメレオロジーに関する試論

第2会場（敬学館地階226）

9:00 田邊 正俊（立命館大学）
ケアリングの基礎づけをめぐる一試論
——ハイデガーとメイヤロフを手がかりとして——

9:50 金成 祐人（慶應義塾大学）
ハイデガーにおける世界と気分

10:40 景山 洋平（東京大学／ヴッパータール大学）
後期ハイデガーにおける自然の有限性とその人間的反省の問題

11:30 池田 喬（東京大学）
ハイデガーと〈死の形而上学〉
——死の実存論的分析の再評価に向けて——

第3会場（敬学館地階227）

9:50 家高 洋（大阪大学）
メルロ＝ポンティの空間論

10:40 國領 佳樹（首都大学東京）
メルロ＝ポンティにおける知覚経験の規範性

11:30 三ツ野 陽介（東京大学）
行為と物語——ポール・リクール解釈学と行為論

12:15-13:30 昼休み・第1回委員会（敬学館地階211）

13:30-15:30 【ワークショップ1】（敬学館地階210）

「フェミニスト現象学における身体論の展望
——現象学的身体論の拡張として——」

オーガナイザー：上原 麻有子（明星大学）

提題者：齋藤 瞳（日本大学）

宮原 優（首都大学東京）

谷口 純子（無所属）

15:40-18:40 【シンポジウム】（敬学館地階210）

「ケアの現象学」

提題者：西村 ユミ氏（大阪大学）

熊谷 晋一郎氏（小児科医）

村上 靖彦氏（大阪大学）

司 会：榊原 哲也氏（東京大学）

18:40- 懇親会 会場：諒友館食堂（会費4,000円）

11月6日（日）

9:00-12:15 個人研究発表（発表30分・質疑応答15分）

第1会場（敬学館地階225）

9:00 武藤 伸司（東洋大学）
フッサール初期時間論における実有位相学的（phansiologisch）分析の考察
——ブレンターノとマイノングの時間論批判を通して——

9:50 鈴木 雄大（東京大学）
行為と志向性に関する一試論

10:40 小手川 正二郎（日本学術振興会・明治大学）
真理と実在
——フッサールとレヴィナスの真理概念（II）——

11:30 澤田 哲生（日本学術振興会・東京大学）
イメージによる触発と無規定な地平：フッサール『空想、像意識、再想起』第19草稿をめぐる

第2会場（敬学館地階226）

9:00 黒岡 佳祐（立命館大学）
ハイデガーと「大学」
——「共に哲学する者」の共同性を巡って——

9:50 横山 陸（一橋大学）
初期ハイデガーのアウグスティヌス解釈をめぐる

10:40 伊藤 良司 (慶應義塾大学)
 身体の諸相について
 ——ハイデガーによる「ニーチェとの対決」から——
 11:30 瀧 将之 (東京大学)
 無から存在へ

第3会場 (敬学館地階227)

9:00 上島 洋一郎 (関西大学)
 デルタイによる精神科学の基礎付けと価値論
 9:50 金 正旭 (北海道大学)
 ラスクはいかなる意味において現象学的であるのか?
 10:40 池田 裕輔 (立命館大学)
 オイゲン・フィンクにおける超越論的仮象について
 11:30 古川 裕朗 (広島修道大学)
 「雰囲気的美学」の可能性
 ——趣味判断とアートワールド——

12:15-13:30 昼休み・第2回委員会 (敬学館地階211)

13:30-14:00 **総会 (敬学館地階210)**

14:05-15:35 **【国際シンポジウム】(敬学館地階210)**

Merleau-Ponty and the Problem of Perception

ラスムス・イエンスン (Rasmus Jensen) 氏
 (コペンハーゲン大学・主観性研究センター)

"Was Merleau-Ponty a Disjunctivist about
 Perceptual Experiences?"

ヴァンサン・ジロー (Vincent Giraud) 氏 (京都大学)

"Perception and Suchness (tathatā, 真如):
 Merleau-Ponty and Nishitani"

司会: 加國 尚志氏

15:45-17:45 **【ワークショップ2】(敬学館地階210)**

「レヴィナス『全体性と無限』とエロスの現象学
 ——『全体性と無限』刊行50周年を記念して——」

オーガナイザー: 小手川正二郎 (日本学術振興会・明治大学)

提題者: 檜垣 立哉 (大阪大学)

伊原木 大祐 (北九州市立大学)

関根 小織 (青山学院大学) (特定質問者)

【会員休憩室】敬学館地階212 教室

お知らせとお願い

1 会費納入 学会費 (年間3000円) を同封の振込用紙にて早急にご納入下さい。研究大会当日、会場でも受け付けます。封筒宛名右下の数字は、未払い年度数 (本年度分も含む) を示します。その数×3000円をお支払い下さい。

2 出欠の連絡 会場準備の都合がありますので、研究大会および懇親会への参加の有無を、同封の返信用ハガキにご記入の上、10月15日 (土) までに必ずお知らせください。

3 2010年度決算報告

【歳入】	【歳出】		
前年度繰越金	1,827,207	『年報』出版費	421,138
納入学会費	1,284,000	『年報』編集費	6,610
『年報』売上	61,160	『年報』送料	30,720
普通預金利子	141	通信費	100,590
計	3,172,508	企画・実行費	0
【次年度繰越金】		事務局経費	7,150
3	2,198,32	研究大会開催費	159,400
		研究大会講師謝礼	40,000
		国際学会年会費	8,302
		事務謝礼	134,000
		会員名簿作成費	19,705
		事務局雑費	46,570
		計	974,185

第33回

研究大会

日時: 2011年11月5日 (土)・6日 (日)

会場: 立命館大学 (衣笠キャンパス)

日本現象学会

事務局 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
 東洋大学文学部哲学科第6研究室(60463)内
 TEL:03-3945-4201
 FAX:03-3945-7353
 E-mail: ml-paj@toyo.jp
 郵便振替 00980-9-109153
 HP: http://wwwsoc.nii.ac.jp/paj2/